

ソフトウェア信頼性研究会 第13回ワークショップ

日時：2017年12月16日（土）～17日（日）

場所：奈良県文化会館

奈良県奈良市登大路町6-2(TEL: 0742-23-8921)

<http://www.pref.nara.jp/1717.htm>

プログラム

12月16日（土） 場所：特別集会室

13:00～13:15 受付

13:15～14:45 オープニング，基調講演

「組み込みからIoTへの時代変遷とソフトウェア信頼性取組み」

梶本一夫（パナソニック株式会社）

14:55～15:55 セッション1 （2件）

「システムを取り巻く信頼性」

三輪東(SCSK株式会社)

「複数バージョンからなるプロジェクトへのCPDP手法の適用について」

天寄聡介（岡山県立大学）

16:00～17:00 セッション2 （2件）

「MathSATを用いた safe Time Petri Net の非有界モデル検査手法の一検討」

井川直，横川智教，有本和民（岡山県立大学）

「Java メソッドの名前と実装の関係性に関する考察-決定木によるアプローチ-」

鈴木翔，阿萬裕久，川原稔（愛媛大学）

12月17日（日） 場所：第1会議室

9:30～10:30 セッション3 （2件）

「iCDに基づいたソフトウェア開発者が持つ役割ごとの開発能力評価の試み」

山田悠斗，土居真之，肥後芳樹，杢本真佑，楠本真二（大阪大学），

塚本貴弘，折方孝夫，藤原永年（三菱電機コントロールソフトウェア株式会社）

「メンバー間の信頼感を高める施策がソフトウェア開発に及ぼす影響」

伊藤修司(SCSK株式会社)

10:40～11:40 セッション4 （2件）

「ファシリテーションスキル授業における学部学生と大学院の学生との学習状況の比較と講師の視線の信頼性について」

毛利幸雄（Professional Instructor & Facilitator Training, 大阪大学）

「ソーシャルコーディングはソフトウェア進化の新たな形態か？」

松本健一（奈良先端科学技術大学院大学）

11:40～12:00 クロージング